

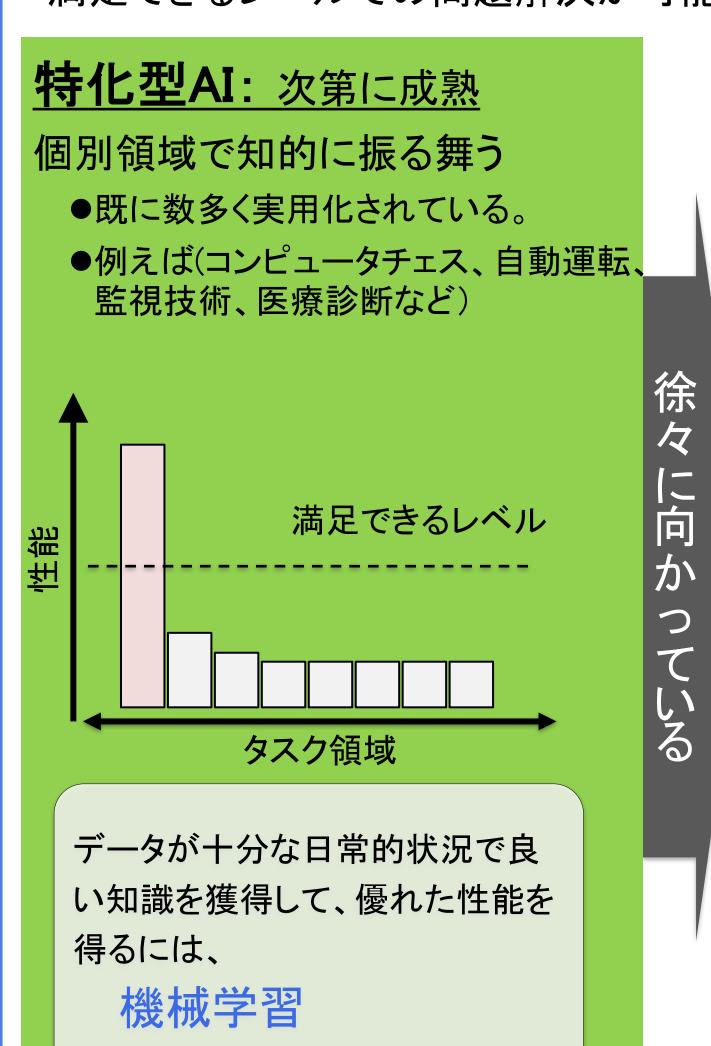
いま実現可能になった全脳アーキテクチャ(WBA)

様々な専門家が力を発揮できる場が生まれています

Let's build a brain together

①技術目標としての汎用人工知能

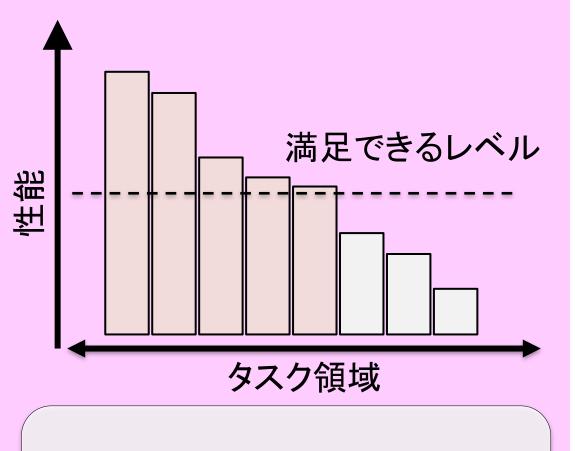
満足できるレベルでの問題解決が可能となるタスク範囲が広いAIへ



がキーテクノロジーである

汎用人工知能: 技術目標 多様な問題解決機能を経験を 通じて獲得する

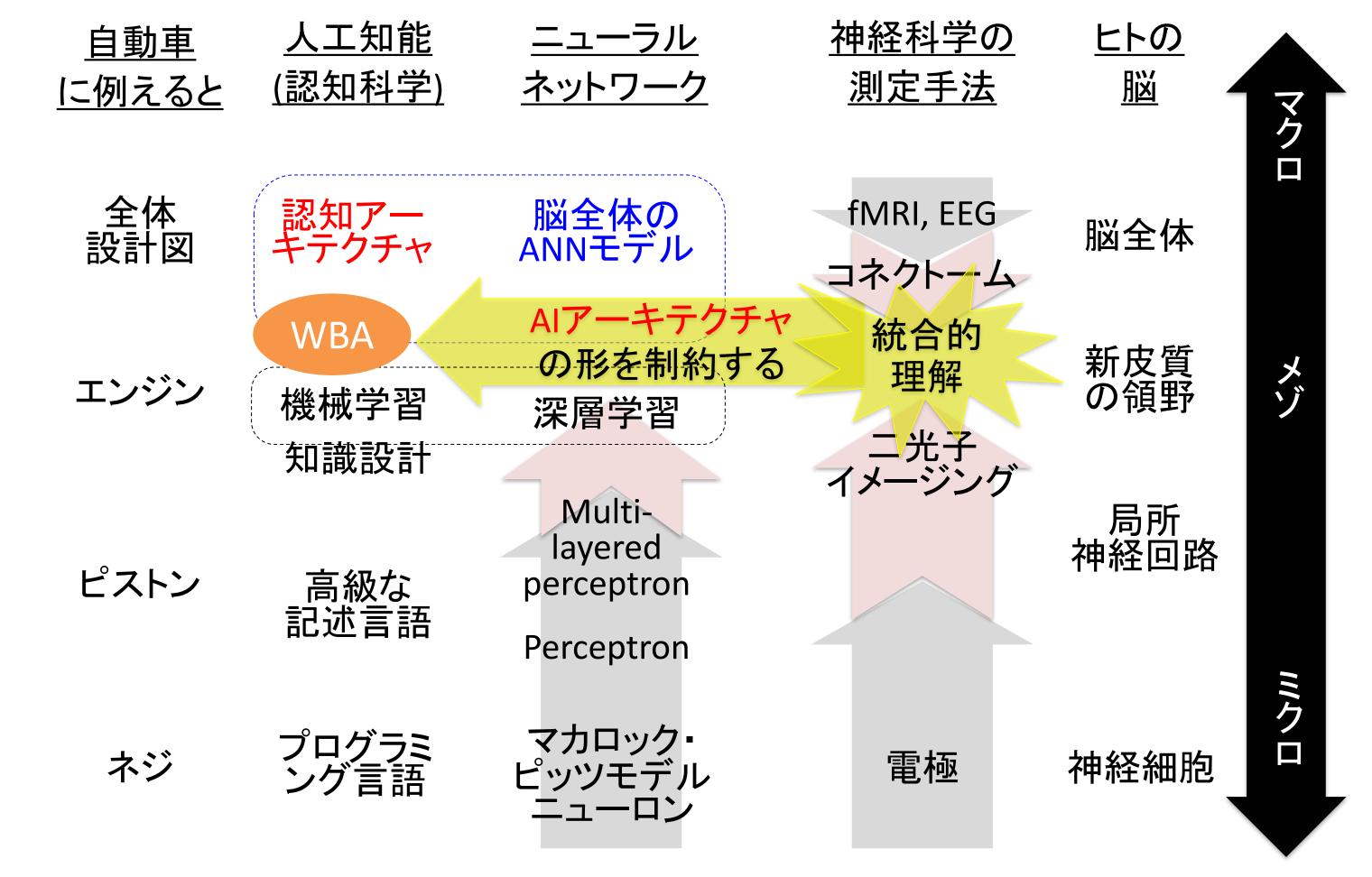
- 設計時の想定を超えた新しい問題を解決できる。
- ●自律性の基盤



データが不十分な未知状況等でも、獲得済みの知識を組み合わせて上手に対応するため、

認知アーキテクチャが重要な技術となる

②AIアーキテクチャを脳に学べる技術状況。



21世紀にはいり、神経科学とニューラルネットワークの研究が メゾスコピックレベルに到達したことでAIアーキテクチャの構築 に役立つ(制約できる)レベルになってきた。 The Whole Brain Architecture Initiative (WBAI)

https://wba-initiative.org/

5基本理念

ビジョン

人類と調和した人工知能のある世界

ミッション

WBAのオープンな開発を促進

価値観

【まなぶ】関連する専門知識を学び、拡める 【みわたす】広く対話を通じて見識を高める 【つくる】共に作り上げる

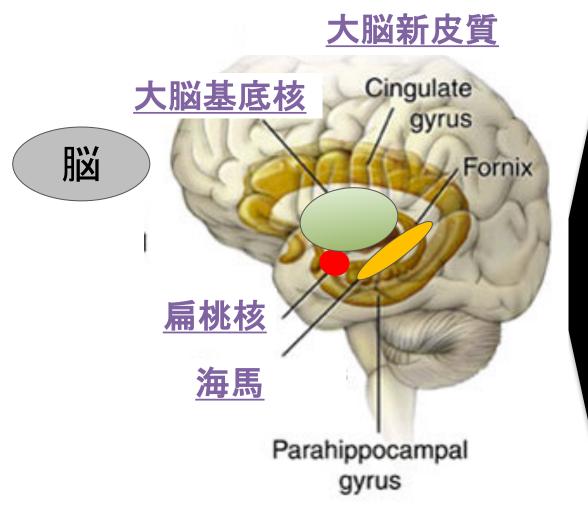
開かれたWBA開発で目指す望ましい汎用人工知能

人間と同じように考え /振る舞う存在として の汎用人工知能

オープンな協創により人 類全体の共有物となる 汎用人工知能

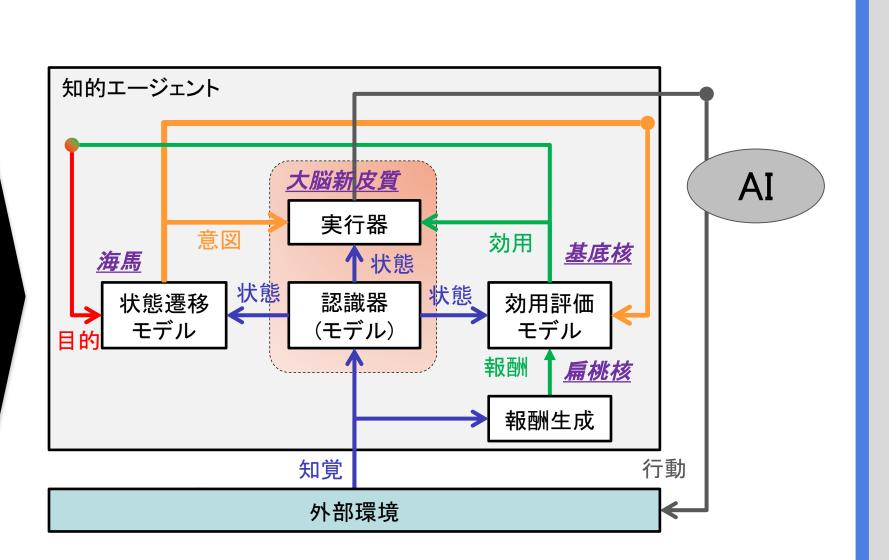
③全脳アーキテクチャ (WBA)アプローチ:

「脳全体のアーキテクチャに学び人間のような汎用人工知能を創る(工学)」



(1) 脳の各器官を機械学習 モジュールとして開発(2) それらモジュールを統合し

た 認知アーキテクチャを構築



WBAアプローチのメリット

合意しうるAIアーキテクチャを制約として共有することで 開発の発散を防ぐ 人間に関わる諸分 野の科学知見を活 用できる 脳の構造を足場とすることで、統合を先送りしない 共同開発を行える ここは貴方の持つ、機械学習、神経 科学、認知モデリング、汎用人工知 能といった専門性を活かせる場

4オープン・プラットフォーム戦略

NPO法人WBAIは協創開発の場づくり進めます

統合:

機械学習モジュールを統合するための 脳型アーキテクチャのプラットフォーム

<u>キャッチアップ:</u>

短期間で最新の機械学習技術を実装できるオープンな技術者コミュニティ

